



団体沿革

2009 年	12 月	団体設立
2010 年	8 月	LGBT 教育事業開始
2011 年	4 月	「早稲田大学公認学生団体 Re:Bit」となる
2012 年	1 月	LGBT 成人式初開催
2013 年	8 月	LGBT 就活事業開始
2014 年	3 月	「特定非営利活動法人 ReBit」となる
	10 月	LGBT ってなんだろう？出版
2016 年	10 月	RAINBOW CROSSING TOKYO 初開催
2017 年	3 月	Ally Teacher's Tool Kit リリース

団体概要

法人名：特定非営利活動法人 ReBit（リビット）
設立：2009 年 12 月（2014 年 3 月 NPO 法人化）
所在地：東京都新宿区戸山 1-1-5 エールプラザ戸山台 301 号室
代表理事：薬師 実芳（やくし みか）
電話：03-6278-9909
メール：info@rebitlgbt.org
ウェブ：http://rebitlgbt.org/
Facebook ページ：https://www.facebook.com/Re.Bit.LGBT



特定非営利活動法人 ReBit
2017 年度 年次報告

はじめに

LGBT を含めたすべての子どもが、
ありのままで大人になれる社会へ。



ReBit とは？

LGBT を含めたすべての子どもがありのままでオトナになれる社会を目指す NPO 法人。団体名には「少しずつ (Bit)」を「何度でも (Re)」繰り返すことにより社会が前進してほしい、という願いが込められ、LGBT の人も LGBT でない人も、大学生や 20 代の若者、約 500 名が参加しています。

代表理事挨拶



特定非営利活動法人 ReBit
代表理事
薬師 実芳 (やくし みか)

私自身がトランスジェンダーであると認識したのは、小学校 6 年生の頃。今、セクシュアリティに悩み、毎晩布団の中で泣いていた小中学生の頃の私に会えるとしたら、言ってあげたい言葉があります。
「あなたのままで大人になれるよ」と。
そんな言葉を届けたくて、大学 2 年生で ReBit を立ち上げ、2017 年度で 9 年目を迎えました。一学生の想いからはじまった団体が、一人また一人の想いと重なり、約 500 名のメンバーとともに 9 年目を迎えられたこと、そして本年も多くのみなさまに応援をいただき、子どもたちに声と想いを届けさせていただいている毎日に、心より感謝を申し上げます。
「少しずつ (Bit) を何度でも (Re)」繰り返すことで、LGBT を含めたすべての子どもがありのままでオトナになれる社会を実現することを信じ、これからも邁進させていただきます。2018 年度も ReBit を応援いただけましたら幸いです。

1989 年生まれ。早稲田大学商学部卒業。キャリアコンサルタント。在学中に ReBit の前身となる学生団体を設立、ウェブ広告代理店での勤務を経て、現職。企業 / 行政 / 学校などで講演実績多数。新宿区、世田谷区等で検討委員を務める。2015 年、青年版国民栄誉賞と言われる「人間力大賞」受賞。2016 年、ダボス会議で知られる世界経済フォーラムに任命された若者によるコミュニティ「グローバルシェイパーズコミュニティ」の一員となる。共著『LGBT ってなんだろう?』『トランスジェンダーと職場環境ハンドブック』他。

メンバーの声



ReBit のメンバーと関わる中でもっと自分のことを認め、好きになることができました。これからも LGBT をはじめとした「色々なちがひ」を知り、誰もが幸せで生きやすい社会になるよう、僕自身が自分らしさを体現した人を目指していきます。(みきと・22 歳)



ReBit を知ったのは「LGBT 成人式」でした。『ありのままの自分でいい』という素敵な空間を目の当たりにし、私も素敵な空間をつくる一員になってみたい!と思うきっかけの日となりました。活動に関わる中でたくさんの人と出会い、多様性を実感することができました。(ののか・21 歳)

ReBit が向き合う課題

LGBT の子どもの現状

LGBT とは？

国内の LGBT の人口比率は、**5% ~ 8%**
約 **13 人 ~ 20 人に 1 人** (*1)

- L** レズビアン (女性同性愛者)
- G** ゲイ (男性同性愛者)
- B** バイセクシュアル (両性愛者)
- T** トランスジェンダー (生まれたときのからだの性をもとに割り当てられた性と、自認する性が異なる人)

4 つの頭文字からなり、セクシュアルマイノリティ (性的少数者) を指す言葉としても使われます。
この他にも多様なセクシュアリティが存在します。

LGBT の子ども / 若者の現状

学校での困難

いじめや暴力を受けたことがある：**LGBT の 68%** (*2)
自殺念慮を抱いたことがある：**トランスジェンダーの 58.6%** (*3)

特に、小学校高学年から高校がピークといわれます。
しかし、先生の 1 割しか LGBT に関する知識をもっておらず、
高校生の 1 割しか習ったことがありません。(*4)
だからこそ、知識やサポートが届いていません。

就職活動での困難

同性愛者や両性愛者の **44%**、トランスジェンダーの **70%** が、
求職時にセクシュアリティに由来した困難を感じます。 (*5)

(*1) 諸外国の調査ではLGBTは概ね2-5%程度などと推定されている。(釜野さおり・石田仁・風間孝・吉仲崇・河口和也 (2015) : 性的マイノリティについての意識調査2015年全国調査報告書,207ページ) 国内の調査ではLGBTは7.6%(2015年 電通ダイバーシティラボ)や、8.0%(2016年 LGBT総合研究所)といった結果がある。
(*2) いのちリスペクト。ホワイトリボン・キャンペーン 平成25年度東京都地域 自殺対策緊急強化補助事業 「LGBTの学校生活に関する実態調査(2013)」
(*3) 中塚幹也(2010)「学校保健における性同一性障害：学校と医療の連携」『日本医事新報』4521:60-64
(*4) ReBit出張授業アンケート(2014・2015)
(*5) 2016 特定非営利活動法人虹色ダイバーシティ、国際基督教大学ジェンダー研究センター調査より

LGBT 教育

「多様性と出会う」授業と
「先生が伝える」教材を全国で展開



出張授業・研修

LGBT への理解を深めていただくため、全国の学校・行政等で子ども・教職員・行政職員等を対象に、現在まで約 650 回・約 6 万人に、出張授業・研修を届けてきました。

ReBit の行う授業は「出会う」授業。LGBT の大学生・若者と出会うことで、理解につなげていただけたらと願っています。LGBT を切り口として、多様性への気づきや、他者理解の向上、そして自身も多様な中の一人であることを認識し自己理解を深めるなど、体感的理解を目的としています。

●2017 年度のご報告●

全国の小中高大学・行政等で、児童生徒や教職員にむけた出張授業・研修を年間 153 回実施し、2.3 万人以上に受講をいただきました。

<実施一覧>

小学校：千葉大学教育学部附属小学校、大和市立林間小学校

中学校：横浜市立中川西中学校、大垣市立西部中学校、足利市立第一中学校、他多数

高校：東京都立小平高等学校、私立湘南学園中学校高等学校、茨城県立江戸崎総合高等学校、他多数

大学：慶應義塾大学、順天堂大学、青山学院大学、他多数

行政：文京区、杉並区、高崎市、平塚市、他多数

<受講者の声>

- ◆「女らしさ」「男らしさ」とかよりも「自分らしさ」が大事なんだと気付きました。自分も自分らしさを大切にしたいです。(小学生)
- ◆見た目では、この人はこういうことを考えているというのはわからないからこそ決めつけたりしたくないし、教えてもらったらちゃんと「そうなんだね」と、分かり合えるようになりたいと思った。(中学生)
- ◆全校のひとりひとりの将来、人生に関わる大切な話を聞きました。(高校生)
- ◆将来教師になったとき LGBT の子は生徒の中にもいることはあると思うので、そういったときにその子の心の支えになれるような存在でいられたらと思います。(大学生)
- ◆子どもと関わる上で無知がゆえに傷つける行為をしてしまっている可能性があるのかもと思いました。子どもに寄り添ったアライの先生になりたいと思います。(教員)
- ◆子どもにとってとても意味のあることだと思いました。お互いのちがいを認め合うことで、お互いがかけがえのない存在として尊重し合える社会をつくっていく、その形成者として子どもが育ってくれたらなと思いました。(保護者)

メンバーの声



高校時代、周りとは「違う」自分の「好き」を、誰かに言うことが怖かった私。「好きなものを好きって言っていんだよ。」ある時友達にそう言われ、安心感が生まれました。思えば、私は誰かの言葉に救われてきました。「ゆいこはひとりじゃないよ。」「何かあったら、いつでもお話聴くよ。」こうした環境が少しでも日常にあったら、一人ひとりが過ごしやすいようになっていくのではないかと私は考え、授業で伝えています。ReBit の授業が、みなさんの気づきや考えるきっかけになれば嬉しいです。(LGBT 教育サブリーダー・ゆいこ・21 歳)

書籍 / 教材開発

ReBit は出版社や、行政と連携し、約 4 万部の多様な性についての書籍 / 教材を作成しました。一部教材は ReBit のオンラインストアからご購入いただけます。<https://rebitlgbsupporters.stores.jp>

書籍

●教職員・保護者向け

『LGBT ってなんだろう？ーからだの性・こころの性・好きになる性』(合同出版 /2014 年)

●小学校中学年以上向け

『いろいろな性、いろいろな生きかた』(ポプラ社 /2016 年)

●小学校高学年以上向け

『ふつうってなんだ？ー LGBT について知る本』(学研プラス /2018 年)



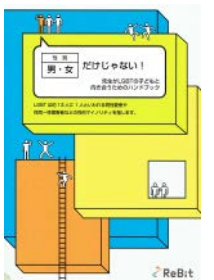
冊子 / DVD

●教職員向け冊子

『男・女だけじゃない！先生が LGBT の子どもと向き合うためのハンドブック』(横浜市・埼玉県・東京都武蔵野市と協働作成 /2014 年)

●教職員向け DVD

『先生にできること～ LGBT の教え子たちと向き合うために～』(早稲田大学教育学部 金井景子研究室と協働制作 /2012 年)



●中学校向け教材 「Ally Teacher' s Tool Kit」(アライ先生キット・2017 年)

LGBT について教員が基礎知識を理解し、授業の中で多様な性についての正しい情報を子ども達に提供し、LGBT の理解者である「アライ先生」となるまでをワンストップで支援する中学校向け教材を 500 個以上無料提供をしました。オンラインでも無料公開中です。<http://rebitlgbt.org/project/kyozai>



<教材の感想>

- ◆当事者の声がつまった素晴らしい教材でした。映像教材や指導案もわかりやすく、大いに活用に使っていただきました。(中学校教諭)
- ◆LGBT は「普通じゃない」と思って笑ったりしていたけど、沢山の個性があっただけいいんだと思った。(中学生)

LGBT 就活

LGBT も「自分らしくはたらく」ことを応援

「履歴書等、男女欄どちらに丸をつけていいかわからず、就活のスタート地点にすら立てない」「職場に理解がないのでは…と思うため、カミングアウトすることが不安」「就職面接でカミングアウトしたら帰れと言われた」など、同性愛者や両性愛者の44%、トランスジェンダーの70%が求職時においてセクシュアリティに由来した困難を感じる^(※5)とされています。そんな10～20代のLGBTに対し、「自分らしい働くを考え、実現する」ためのLGBT就活事業を2013年より展開しています。

(※5): 2016 特定非営利活動法人虹色ダイバーシティ、国際基督教大学ジェンダー研究センター調査より

●2017 年度のご報告●

<就活生応援>

ReBit はキャリアカウンセリングやイベント等で、約 1500 名の LGBT 就活生を応援してきました。2017 年度は、行政が行う就労支援としては初めて、LGBT のための定期的な就労相談を神奈川県とともに実施しました。また、LGBT 就活生に向けた情報サイト LGBT 就活を運営しています。
<http://lgbtcareer.org>

- ◆他に相談できるところがなく心細かったからこそ相談できてよかった。(就活生)
- ◆セクシュアリティにより働くことになかなか踏み出せなかったけれど、自分らしく働くことについてディスカッションをして様々な方の意見が聞けて良かった (就活生)

<企業 / 就労支援者研修>

職場や就労支援機関で LGBT についての理解を深める研修を、2017 年度は 52 回実施しました。実績：トヨタ自動車株式会社、日本航空株式会社、日本労働組合総連合会、神奈川県労働局、他



- ◆言葉としては知っているつもりでも、実情を全くわかっていなかったことを感じた。整理された理論と個々の声のバランスが良く、良い機会であった。(人事担当者様)
- ◆基礎知識から体験談、今後の意識など、全般に貴重なものを聞けて大変参考になった。(管理職様)



<RAINBOW CROSSING TOKYO>

LGBT を切り口に「誰もが自分らしく働ける社会」を共創する会議を 2016 年に続き 2 回目を実施しました。約 800 名、107 社が参加。後援を厚生労働省、日本経済団体連合会、日本労働組合総連合会、文京区からいただき、政労使の三者から後援をいただく国内初の LGBT イベントとなりました。

<RAINBOW CROSSING TOKYO 参加者の声>

- ◆ありのままの自分でもはたける環境があることを知ることができ、社会に出ることに前向きになりました。(トランスジェンダー学生)
- ◆みなさんの熱意を感じました。お伺いした就職・職場での取り組みを今後活かしたいです。(企業担当者)



出展企業 (敬称略・順不同)：NTT グループ、アクセンチュア株式会社、グーグル合同会社、株式会社丸井グループ、LGBT ファイナンス、株式会社資生堂、野村ホールディングス株式会社、日本電気株式会社、ユニリーバ・ジャパン、ギャップジャパン株式会社、ソニー株式会社、日本アイ・ビー・エム株式会社、日本航空株式会社、株式会社ラッシュジャパン、麒麟株式会社、EY Japan、日本マイクロソフト株式会社、KDDI 株式会社

映像研修 / 書籍の開発

企業向け研修映像：LGBT の基礎知識、職場での困りごと、今日からできることなどを知る映像研修を作成しました。

ハンドブック：企業担当者や就労支援者が理解を深めるためのハンドブックを作成。

★印のハンドブック 2 種は無料で頒布しています。

詳細は <https://rebitlgbt.org/project/company> をご覧ください。

書籍：『トランスジェンダーと職場環境ハンドブック』
(日本能率協会マネジメント / 2018 年)



★企業向け
ハンドブック



★就労支援者向け
ハンドブック

若者リーダー応援

LGBT の課題に取り組む
全国の若手リーダーを応援 / 育成する



LGBT 成人式

「ありのままの自分」を誇り、祝福されることで「成りたい人」への一歩を踏み出してほしいとの想いから、成人式型イベント「LGBT 成人式」を 2011 年度より東京都世田谷区を中心に毎年開催しています。2016 年度までに全国 16 地域で計 55 回開催し、年齢・セクシュアリティを問わず、LGBT の人やその友人・かぞくなど、1 歳～80 代まで幅広い層の皆さま、のべ約 5500 名さまにご参加いただきました。

●2017 年度のご報告●

第 1 部の式典では、保坂展人世田谷区長をはじめで来賓の皆さまより祝辞をいただきました。また、「新成人の辞」では、今までの人生を振り返り、今後どのような自分でありたいのかについて、ありのままで語られていた姿が印象的でした。

第 2 部のトークショーでは、「多様な幸せのカタチ」をテーマとし、タレントで文筆家の牧村朝子さん、第 5 代 WBC 女子世界フライ級王者の真道ゴーさん、youtuber のじゅんじゅんさんから、過去や現在を踏まえて将来はどのようにありたいのかについてお話を伺いました。

<参加者の声>

- ◆『成りたい人になる』改めて素敵なテーマだと感じました。自分らしく生きよう、と思いました。
- ◆わたしは LGBT ではないけれど、アライとして輪を広げられたらいいなと思いました。



東京会場：200 名参加
全国では東京を含め 6 ヶ所で開催。約 300 名参加
後援：世田谷区、世田谷区教育委員会
協賛（敬称略・順不同）：
みずほ社会貢献ファンド（役職員基金）、
グーグル合同会社、ギャップジャパン株式会社、
ユニリーバ・ジャパン

メンバーの声

主体的なメンバーと共に、参加者の皆様のきっかけとなる空間を作ることができ、嬉しく思います。カミングアウトをしていない私が共同代表を務めることに葛藤もありましたが、カミングアウトをしていなくてもありのままの自分であることに自信ができました。今後もこのような空間が多くの人に広がることを願っています。（2017 年度 LGBT 成人式共同代表 佐々木香・22 歳）

2017 年度は全国 6 ヶ所で LGBT 成人式を開催できました。どんなちがいを持っていてそのままの自分でいられ祝福しあえる、そんな日・場所を作ろうとする動きが全国で生まれていることを嬉しく思っています。全ての地域で一日も早くそれが日常のものとなり、LGBT 成人式が必要ない社会になりますように。（2017 年度 LGBT 成人式共同代表 下坂朋・22 歳）

メディア報道 財務諸表

2017 年度メディアでの報道

- テレビ NHK ニュース、NHK「高校講座」、日本テレビ「news every.」、他
 - 新聞 日本経済新聞、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、産経新聞、東京新聞、他
 - Web メディア Yahoo! ニュース、huffingtonpost、buzzfeed、他
 - 寄稿 独立行政法人 労働政策研究・研修機構（JILPT）「企業の LGBT の就労に関する取組事例」、『メールカウンセリングの技法と実際ーオンラインカウンセリングの現場から』（川島書店）、神奈川大学評論、他
 - 著書・共著書 『「ふつう」ってなんだ？LGBT について知る本』（学研プラス）、『トランスジェンダーと職場環境ハンドブック』（日本能率協会マネジメント）、『教育と LGBTI をつなぐ』（青弓社）、『性のあり方の多様性』（日本評論社）
- *その他にも、多数のメディアにて放映・掲載をいただきました。

財務諸表

平成29年度 活動計算書			
平成29年4月1日から平成30年3月31日まで			
(単位：円)			
科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費		128,000	
2 受取寄附金		3,966,844	
3 受取助成金等		17,645,000	
4 事業収益		34,571,746	
5 その他収益		304	
経常収益計			56,311,894
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費	12,966,789		
(2) その他経費	13,719,265		
事業費計		26,686,054	
2 管理費			
(1) 人件費	3,823,024		
(2) その他経費	4,213,669		
管理費計		8,036,693	
経常費用計			34,722,747
III 経常外収益計			0
IV 経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			21,589,147
当期正味財産増減額			21,589,147
前期繰越正味財産額			27,901,588
次期繰越収支差額			49,490,735

平成29年度 貸借対照表			
平成30年3月31日現在			
(単位：円)			
科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	51,405,545		
未収金	2,614,054		
棚卸資産	101,730		
貯蔵品	550,381		
流 動 資 産 合 計		54,671,710	
2 固定資産			
固 定 資 産 合 計		100,000	
資 産 合 計			54,771,710
II 負債の部			
1 流動負債			
流 動 負 債 合 計		5,280,975	
2 固定負債			
固 定 負 債 合 計		0	
負 債 合 計			5,280,975
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		27,901,588	
当期正味財産増減額		21,589,147	
正味財産合計			49,490,735
負債及び正味財産合計			54,771,710

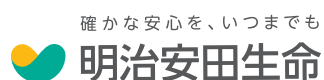
ご支援くださった企業・団体

ReBit をもっと知る / 応援する



2017 年度 ご支援くださった企業・団体様

(敬称略・順不同)



Panasonic NPO
サポート ファンド
子ども分野

かながわボランティア
活動推進基金 21
(神奈川県)

埼玉県

にじいろバトンチームに参加する

にじいろバトンは、月 1,000 円からご参加いただける、次世代応援のための寄付サポーターチームです。ReBit と一緒に、次世代に未来のバトンをつなぐ仲間を募集しています。



<御礼 / 報告>

- ReBit 最新の活動情報 (月 1 回)
- にじいろバトン交流会、感謝祭 (年 2 回程度)
- アニュアルレポート (年 1 回)

<お申込みはこちらから>

<https://rebitlgbt.org/support/nijirobaton>



<にじいろバトンメンバーの声>

- ◆ReBit のみなさんは、ずっと教えを受け続けたい先生であると同時に、大切な生徒でもあります。目の前の子どもたちと重なり、この子たちがあるがままに認められる教室をつくるんだ、と思いを新たにさせられます。これからも応援しています！(中学校教諭)

ReBit の情報をメルマガで受け取る

毎月、ReBit の最新の活動やイベント情報をお届けするメールマガジンを配信しています。

<お申し込みはこちらから>
<https://goo.gl/gKwLuS>

